

試合番号 : 298	試合会場 : とどろきアリーナ	観客数 : 1,201	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:57	試合時間 : 01:57	
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 増岡 三佳子		
NECレッドロケッツ 通算 2勝 0敗 ポイント : 6		25 第1セット 23 25 第2セット 20 14 第3セット 25 25 第4セット 17 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ 通算 0勝 2敗 ポイント : 0
監督コメント	3	1	開幕2戦目。昨日は何もできないままに敗戦となってしまい、その反省を活かし初勝利を上げたいところでしたが、NECの高さとパワー、バックアタックを絡めた攻撃に苦しめられ、3セット目を取ったものの敗戦となりました。 来週は黒部でのホームゲームになりますので、この2連戦に向けてしっかり見直し、準備を行いたいと思います。 引き続き、ご声援よろしくお願いたします。
要約レポート	NECレッドロケッツのホームゲーム第2戦、KUROBEアクアフェアリーズとの試合。 第1セット序盤、KUROBEは5連続ポイントでNECを突き放し、そのまま1回目のテクニカルタイムアウトを迎える。その後、NECは島村のブロックや古谷のジャンプサーブなどで徐々に追い上げ逆転に成功。KUROBEも坪田のスパイクなどで粘りを見せるが接戦の末、NECが第1セットを先取した。 第2セット、小島的好プレーから古谷や柳田のスパイクなどで流れをつかんだNECがリードを広げる。その後も塚田の多才なトス回しから得点を重ねたNECが勢いをそのままにセットを連取した。 第3セット、KUROBEは浮島の強烈なスパイクや坪田のサーブ、小杉のブロックなどで好スタートを切り、1回目のテクニカルタイムアウトを迎える。NECはセッターを塚田から澤田に代え、流れを変えようとするが、KUROBEの勢いを止められず、小杉のブロックや浮島の連続スパイクでさらに点差を広げたKUROBEが第3セットを奪い返した。 第4セット、島村のブロックやクイック攻撃でNECがリードを広げる。NECはその後島村のブロックやサービスエースなどの活躍で得点を積み重ね、NECが第4セットを奪い、セットカウント3-1で勝利した。		

試合番号 : 299	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 402	
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:19	試合時間 : 01:19	
主審 : 内藤 聡美	副審 : 吉岡 奈々		
トヨタ車体クインシース 通算 0勝 2敗 ポイント : 0		16 第1セット 25 19 第2セット 25 13 第3セット 25 第4セット 第5セット	JTMアヴェラス 通算 2勝 0敗 ポイント : 6
監督コメント	0	3	本日もたくさんの応援ありがとうございました。 トヨタ車体のホームゲームでアウェイの中、2連勝できたことはとても大きな成果です。昨日と同じ相手でしたので、昨日の反省に加えて、JTのバレーができる準備を心掛けスタートしました。 全体を通してサーブが機能し、相手にストレスを与えることができたことで、自分たちのブロックとディフェンスの関係が上手くいきました。また来週に向けてしっかりと準備をし、皆様に感動を与えられるように頑張ります。2日間、応援ありがとうございました。
要約レポート	昨日に続きトヨタ車体クインシースのホームゲーム、JTMアヴェラスとの第2戦はセットカウント3-0でJTが勝利した。 第1セット、両チームがお互いに連続得点を取り合う展開でスタートしたが、JTはヒックマンの効果的なサーブから4連続得点でリードを奪うと、10-9の場面から7連続得点し流れを掴む。トヨタ車体も黒頭のアタックポイントや松本のブロックポイントでもJTの勢いを止めることはできず、JTがセットを先取した。 第2セット、JTが第1セットの勢いそのままに4連続得点でスタートする。トヨタ車体は周田のサービスエース、黒頭のアタックポイントなどでリズムを作ろうと粘るが、JTの和田、ヒックマンがコンスタントにアタックを決め、JTがセットを連取した。 第3セット、トヨタ車体は自分たちのリズムを作ろうとセッターやスタートポジションを変えて臨み6-4とリードするが、JTはこのセットもヒックマンの効果的なサーブで一気に形勢をひっくり返すと、和田、芥川がアタック、ブロックでポイントを重ね、この試合に勝利した。		

試合番号 : 300	試合会場 : 西尾市総合体育館	観客数 : 630	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:32	試合時間 : 01:32	
主審 : 城 智人	副審 : 沢田 元		
デンソーエアリービーズ 通算 2勝 0敗 ポイント : 6		25 第1セット 20 25 第2セット 23 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	PFUブルーキャッツ 通算 0勝 2敗 ポイント : 0
監督コメント	3	0	本日も沢山のご声援をいただき、ありがとうございました。 また会場にお越し下さったバレーボールファンの皆様、ありがとうございました。 相手チームは非常にまとまりがあり、良いバレーを展開されていたので見習い、来週はホームゲームなので輪島ので初勝利をあげるべく準備をしていきたいと思っております。 開催にご尽力いただいた西尾市の皆様も本当にありがとうございました。
要約レポート	デンソーエアリービーズがPFUブルーキャッツをホームに迎えての第2戦。 第1セット、前日の雪辱を果たしたいPFUは、序盤からデンソーのコンビバレーに押され、7-2まで離される。一矢報いたいPFUは、バルデスにボールを集めるが、攻守にわたりデンソーが一歩リードする展開が続く。中盤以降も軟打を効果的に決めたデンソーがリードを広げたままでセットを先取した。 第2セット、PFUはスターティングメンバーに鍋谷と田原を起用。序盤は1点を取り合う展開になり、PFUが1回目のテクニカルタイムアウトを8-7で迎える。中盤、PFUはジャンとバルデスにボールを集め、流れを掴むと思われたが、終盤にデンソーは中元の活躍で逆転に成功し、そのままセットを連取した。 第3セット、デンソーは横田と中元、PFUはバルデスが打ち合い、お互い譲らない展開となる。中盤以降、デンソーはセッター松井からのトスワークが冴え、流れを掴む。最後は中元のアタックが決まりストレートでゲームをもにした。PFUも高相や鍋谷がレフトから得点を重ねたものの、一歩及ばなかった。		

試合番号 : 301	試合会場 : 笠岡総合体育館	観客数 : 526	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:26	試合時間 : 01:26	
主審 : 千代延 靖夫	副審 : 本間 明		
岡山シーガルズ 通算 0勝 2敗 ポイント : 1		16 第1セット 25 15 第2セット 25 22 第3セット 25 第4セット 第5セット	埼玉上尾メディックス 通算 2勝 0敗 ポイント : 5
監督コメント	0	3	今シーズンは土・日同カードの対戦で、対戦相手がどのような戦術を展開してくるかわかりませんでした。 ゲームの中で自分達の修正点を分析して改善することを目指しました。 選手達はコート上で修正点を見事に改善して、対応力の高さをを見せてくれました。 ミドルブロッカーの権田が、Vリーグ初出場、初得点をあげることができました。若い選手も含めて、シーズンを通して個の成長がチームの成長につながるようになっていきます。 引き続き、ご声援よろしくお願いたします。
要約レポート	ホームゲームで今シーズン初勝利を目指す岡山シーガルズと開幕からの連勝を狙う埼玉上尾メディックスの一戦。 第1セット、埼玉上尾は序盤からブロックが冴え得点を重ねる。中盤、岡山も選手交代により流れを変えにかかると、埼玉上尾は内瀬戸や佐藤を中心に得点を重ね、セットを先取した。 第2セット、このセットも序盤から埼玉上尾が山口や佐藤を中心に得点を重ねリードを奪う。岡山はこのセットも選手交代によりリズムを掴みたいが、勢いに乗った埼玉上尾は内瀬戸、青柳のアタックによりリードを広げる。岡山も前田や佐藤の得点により反撃するが、このセットも埼玉上尾が連取した。 第3セット、後の無い岡山は序盤、及川や中本のスパイクで得点をあげるが、埼玉上尾は青柳の連続得点などで引き離しにかかる。岡山も長瀬や金田を中心に反撃し終盤まで一進一退の攻防となるが、埼玉上尾がこのセットも奪い、開幕2連勝を飾った。		

試合番号 : 302		試合会場 : SAGAプラザ総合体育館 (佐賀県総合体育館)				観客数 : 819	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:56		試合時間 : 01:56		主審 : 木内 誠二	
副審 : 平田 敬基		通算		1勝 0敗		ポイント : 3	
久光スプリングス		25		第1セット		20	
監督コメント 昨日同様苦しい試合展開となったが、途中出場の選手の活躍もあり、全員で勝利を掴むことができた。しかし内容としては課題もある。シーズンを通して、様々なことにチャレンジし、成長できるように積み重ねていきたい。ホームである佐賀の音と勝利を分かち合えたことを嬉しく思う。引き続きご声援宜しくお願いします。		19		第2セット		25	
		25		第3セット		22	
		25		第4セット		16	
				第5セット			
		3		1		監督コメント 昨日と同じ対戦カードとなり、チームでは攻撃のパターンを増やして守備面での修正をし、もう一度初戦という気持ちで試合に挑みました。アウェイの中で苦しい展開が続き、流れを変えることができず敗れてしまいました。課題や反省点が多く見えた試合となりました。来週はホーム開幕戦となります。しっかり準備をし、試合に臨みたいと思います。引き続き、ご声援宜しくお願いします。	
要約レポート 第1セット、久光スプリングス、日立Astemoリヴァーレともに譲らず、一進一退の攻防が続く。中盤、久光は二枚替えで流れを掴むと、大竹のブロック、スパイクによる活躍で日立Astemoを突き放し、セットを先取した。 第2セット序盤、久光は白澤、井上(愛)の多彩な攻撃で流れを掴む。中盤、日立Astemoは上坂、オクム大庭の強打で対抗し、逆転に成功。久光は終盤ミスが重なり得点を伸ばせず、第2セットは日立Astemoが取り返した。 第3セット、日立Astemoが渡邊、長内の連続ブロックポイントで一気に流れを掴むと、中盤までリードした展開に、しかし、久光は終盤、中川の連続得点で逆転に成功し、第3セットを奪取した。 第4セット、両チームともに粘りを見せ、均衡した展開が続く。中盤、久光は井上(愛)のサーブエース、野本のブロックポイントで流れを掴むと、その後も中川を中心に幅広い攻撃を見せて日立Astemoを突き放し、今シーズン初白星を飾った。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント		第1セット				監督コメント	
		第2セット					
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント		第1セット				監督コメント	
		第2セット					
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント		第1セット				監督コメント	
		第2セット					
		第3セット					
		第4セット					
		第5セット					
要約レポート							